

# 子どもが家庭で育つ権利をもとめて

## —障害のある子どもが里親家庭で育つために—

障害の有無にかかわらず子どもの育ちの基盤は家庭にあります。子どもの権利条約は、何らかの事情で親もとを離れざるを得ない子どもにとって、最善の育ちの場は里親家庭であると明言しています。しかしわが国においては、こうした子供たちの約9割が入所型の施設で暮らしています。一方、心身に障害のある子どもや「発達に心配のある」子どもが、すでに里親家庭で養育されています。障害児が里親家庭で養育されるための支援体制はいかにあるべきなのでしょう？

このテーマを考えることは、日本の児童福祉、障害福祉のあり方全体に検討を加え変革することにつながります。多くの皆さまのご参加と活発な議論を期待します。

日 時 : 2011年1月14日(金) 10:30~16:30

会 場 : 日本財団2階大会議室(東京都港区赤坂1丁目2番2号)

### プログラム

10:30 開会あいさつ

10:40~ 基調講演「障害のある子どもと家庭的養護」柏女霊峰(淑徳大学総合福祉学部教授)

11:40~ 基調報告「里親アンケートから見える障害児里親の課題と可能性」

花崎三千子(日本グループホーム学会運営委員)

12:20~ 昼食

13:20~ シンポジウム「障害のある子どもが里親家庭で育つために」

大塚 晃(上智大学総合人間科学部教授)

木ノ内博道(全国里親会理事)

ト蔵 康行(日本ファミリーホーム協議会会長)

村田 和木(ライター)

厚生労働省(雇用均等・児童家庭局 家庭福祉課)

コーディネーター 北川聡子(社会福祉法人麦の子会総合施設長・里親)

16:20~ 閉会あいさつ

対 象 者 : 里親・ファミリーホーム・児童相談所・児童行政担当者・子育て支援機関・児童養護施設・障害児施設・障害児療育機関・相談支援関係者・教育関係者・研究者・学生・マスコミ、その他関心のあるすべての方

定 員 : 200名 参加費 : 無 料

申 込 み : 2011年1月8日(土)までにEメールまたはFAXにてお申し込みください  
Eメールでのお申し込みの場合は、[info@gh-gakkai.com](mailto:info@gh-gakkai.com)にご連絡ください

主 催 : 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会  
「障害児の里親促進のための基盤整備事業」実施委員会

後 援 : (財)全国里親会 ・ 日本ファミリーホーム協議会

## フォーラム「子どもが家庭で育つ権利をもとめて」参加申込書

	参加者氏名	所属職種	連絡先
1			
2			
3			
4			
5			

\* 《会場案内図》



- 地下鉄銀座線「虎ノ門駅」 3番出口より徒歩5分
- 地下鉄銀座線・南北線「溜池山王駅」 9番出口より徒歩5分
- 地下鉄丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前駅」 3番出口より徒歩6分

障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会事務局

〒231-0806 横浜市中区本牧町1-120 FAX 045-228-7728

E-mail info@gh-gakkai.com